

令和7年11月26日

日本教材学会  
会 員 各位

日本教材学会 関東甲信越支部  
支部長 増田 有紀

日本教材学会関東甲信越支部  
令和7年度総会・研究会のご案内（1次案内）

師走の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本学会の活動に格別のご支援とご協力を賜り、深く御礼申し上げます。

さて、このたび6年ぶりに、日本教材学会関東甲信越支部令和7年度総会・研究会を、下記の要領で開催する運びとなりました。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 令和8年2月28日（土） 13:00 ～ 15:30

2. 会 場 埼玉大学大久保キャンパス  
(ハイブリッド形式での開催予定)  
〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255  
<https://www.saitama-u.ac.jp/access/accessmap/>

3. 参加費 無料（資料はデータでの配布となります）

4. 総会 13:00 ～ 13:30  
(1) 令和7年度事業・会計報告  
(2) その他

5. 研究会 13:30 ～ 15:30  
シンポジウム「教育 DX 時代の教材の可能性—デジタルとアナログの共存を考える—」

教育 DX の進展により、デジタル教材とアナログ教材の新たな役割や関係性が問われています。本シンポジウムでは、各教科（算数・数学科、社会科、理科、音楽科）の研究者・現場教員・企業の視点から、両者の特性と可能性を捉え直し、これからの教材の姿を展望します。

登壇者（予定） 増田 有紀（埼玉大学） 山口 直人（教育同人社）  
藤井 大亮（東海大学） 長澤 佑亮（沼津市立大岡中学校）  
前田 善仁（東海大学） 成井 良平（厚木市立睦合東中学校）  
森 薫（埼玉大学） 遠山 里穂（埼玉大学附属小学校）  
コーディネーター 成田 慎之介（東京学芸大学）

参加申し込み等の詳細については、第2次案内（2026年1月を予定）を学会 HP 等でお知らせします。

【お問い合わせ先】

日本教材学会事務局 jimukyoku@kyozai-gakkai.jp

【学会 HP】 <https://kyozai-gakkai.jp/>